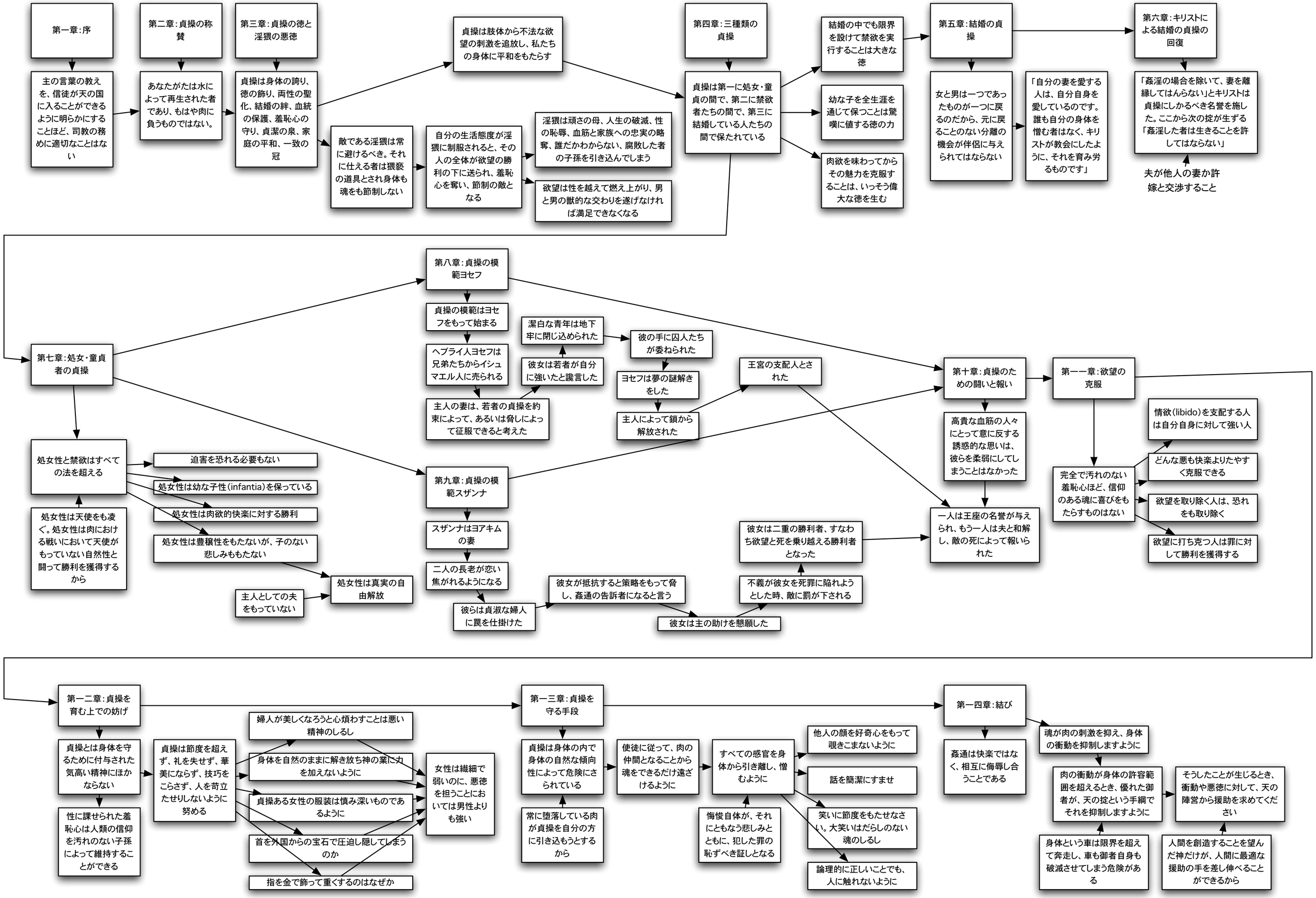ノウァティアヌスの
貞操の賜物について